

このたび、文化庁文化審議会無形文化遺産部会におきまして、「伝統的酒造り」が本年度のユネスコ無形文化遺産への提案候補として選定されました。

日本の國酒である日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりんなどの伝統的酒造りが選定されたことを、大変うれしく思っており、関係各位のご尽力に感謝申し上げます。

「日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術の保存会」は「日本酒造組合中央会」及び「日本酒造杜氏組合連合会」とともに、国税庁、文化庁のご支援をいただきながらユネスコ無形文化遺産への登録を目指し取り組んでまいりました。

提案候補としての選定を契機に、全国各地の酒造組合、杜氏組合、独立行政法人酒類総合研究所、公益財団法人日本醸造協会や国税庁、文化庁等の関係者とこれからもますます連携を深め、「伝統的酒造り」の継承発展と普及啓発に努めながら、ユネスコによる登録を目指していきたいと考えております。

令和4年2月25日

日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術の保存会 会長 小西新右衛門
(こにし しんうえもん)

日本酒造組合中央会 会長 大倉治彦
(おおくら はるひこ)

日本酒造杜氏組合連合会 会長 直町晃悦
(すぐまち こうえつ)